

神奈川歯科大学附属病院複合型プログラム

臨床研修施設長 病院長 木本克彦

プログラム責任者 今泉うの（研修管理委員長）

副プログラム責任者 藤巻龍治（保存科・歯内診療部門）

事務部門の責任者 張替明美

【複合型プログラムの特色】

管理型相当大学病院（神奈川歯科大学附属病院）3ヶ月、協力型（Ⅰ）臨床研修施設8ヶ月、管理型相当大学病院（神奈川歯科大学附属病院）1ヶ月のスケジュールで研修を行う。大学附属病院での研修3ヶ月間の内、最初の2週間は基礎研修を行い、人工歯を用いた根管治療、形成実習、基本的な技工操作の習得や歯科医師として知っておくべき事項の講義を行う。その後、大学附属病院で臨床を経験し、基本的臨床能力を身に付け、歯科医師としての自覚を促し、生涯研修の動機付けをする。

臨床は研修歯科医のレベルに合わせて、治療の見学や助手から始まり、経験を積んだのちに順次実際の治療を行う。大学附属病院の3ヶ月間では、口腔外科・障がい者歯科・全身管理高齢者歯科・小児歯科・歯科麻酔科等での研修を行うため幅広い経験ができる。口腔外科では、連続した2週間で研修を行い、その間に口腔外科外来、入院症例の処置、全身麻酔下の手術の見学や助手を経験できる。

また、BLS コースを受講し、成人および小児・乳児の心肺停止に対する初期対応を身に付ける。

大学附属病院で3ヶ月の研修後、協力型（Ⅰ）臨床研修施設へ出向し、8ヶ月間一般歯科医院での治療のほか、コデントタルスタッフとの連携、歯科診療所の管理・運営等を学ぶ。また、地域社会の行事（歯科に関わるイベントなど）への参加により地域医療の担い手としての自覚を生み、幅広い人間性を養える。

研修期間中は、研修プログラムの到達目標に則って、大学附属病院および協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて頻度の高い歯科治療処置を数多く経験し、自らが実践できるように必要な臨床能力を身に付ける。

【臨床研修の目標の概要】

歯科医師として好ましい態度・習慣を身に付け、頻度の高い歯科治療処置を確実に実施できるようになり、生涯にわたりより広範囲の歯科医療について知識、技能を習得する態度を養い、生涯研修の第一歩とすることである。社会に貢献し、国民の健康増進に寄与する歯科医となるよう以下を目標とする。

- 1 歯科医師として好ましい態度・習慣を身に付け、患者および家族とのよりよい人間関係を確立する。
- 2 全人的な視点から得られた医療情報を理解し、それに基づいた総合治療計画を立案する。
- 3 歯科疾患と障害の予防および治療における基本的技能を身に付ける。
- 4 一般的によく遭遇する応急処置と、頻度の高い歯科治療処置を確実に実施する。
- 5 歯科診療時の全身的偶発事故に適切に対応する。
- 6 自ら行った処置の経過を観察、評価し、診断と治療に常にフィードバックする態度・習慣を身に付ける。
- 7 専門的知識や高度先進的歯科医療に目を向け、生涯研修の意欲への動機付けをする。
- 8 歯科医師の社会的役割を認識し、実践する。

【研修歯科医の指導体制】

大学附属病院での4ヶ月の研修中、成人系各診療科（保存科（保存修復診療部門、歯内診療部門、歯周診療部門）、補綴科（クラウンブリッジ診療部門、義歯診療部門、接着器材診療部門）、顎・口腔インプラント科）の指導歯科医の下で臨床を行う。また、協力型（Ⅰ）臨床研修施設での研修期間中に経験できない症例を各診療科の指導歯科医の下で行う（各科研修）。なお、連続した2週間の口腔外科研修では1名の指導責任者の下、口腔外科医局員複数名で指導に当たる。

協力型（Ⅰ）臨床研修施設での指導体制は指導歯科医とコデントタルスタッフが連携して、施設の特徴を生かし、数多い症例の中から研修歯科医の診療レベルに合わせた指導を行う。協力型（Ⅰ）臨床研修施設での研修中、管理型相当大学病院が研修状況、出勤状態を把握したり、問題時の対処などをメール、ファックス、電話等で行ったり、必要であれば管理型相当大学病院の指導歯科医が協力型（Ⅰ）臨床研修施設へ出向して指導を行う。訪問歯科診療では同行する指導歯科医や歯科衛生士が指導する。

【研修到達目標】

（一般目標） 歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）および基本的診療能力を身に付ける。

（行動目標）

- 1) 社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。
- 2) 患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先するとともに QOL に配慮し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。
- 3) 患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心をもって接する。
- 4) 自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。
- 5) 診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。
- 6) 患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。
- 7) 最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。
- 8) 臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。
- 9) 患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。
- 10) 医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。
- 11) 医療をはじめ、医療従事者として必要な新旧科学技術をはじめとする情報を収集、管理して活用する。
- 12) 医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献する。
- 13) 医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。
- 14) 医療の質の向上のために省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

【臨床研修の必要な症例数】

197 例以上

到達目標

A 歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

1. 社会的使命と公衆衛生への寄与

社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。

2. 利他的な態度

患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先するとともに QOL に配慮し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。

3. 人間性の尊重

患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心をもって接する。

4. 自らを高める姿勢

自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。

B 資質・能力

1. 医学・医療における倫理性

診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

①人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。

②患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。

③倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。

④利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。

⑤診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。

2. 歯科医療の質と安全管理

患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

①医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。

②日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。

③医療事故等の予防と事後の対応を行う。

④歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解し、実践する。

⑤医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む。）を理解し、自らの健康管理に努める。

3. 医学知識と問題対応能力

最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

①頻度の高い疾患について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。

②患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。

③保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。

④高度な専門医療を要する場合には適切に連携する。

4. 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

- ①患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。
- ②診察・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。
- ③患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施する。
- ④診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。

5. コミュニケーション能力

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

- ①適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。
- ②患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。
- ③患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。

6. チーム医療の実践

医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

- ①歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図る。
- ②多職種が連携し、チーム医療を提供するにあたり、医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。
- ③医療チームにおいて各構成員と情報を共有し、連携を図る。

7. 情報・科学技術を活かす能力

- ①情報倫理（AI 倫理を含む）及び個人情報を含むデータ保護に関する原則を理解し、実践する。
- ②健康・医療・介護に関わる情報倫理及びデータ保護に関する原則を理解し、実践する。
- ③医療・保健・介護分野での Internet of Things（IoT）技術や AI 等のデータの適切な活用について理解する。

8. 社会における歯科医療の実践

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献する。

- ①健康保険を含む保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。
- ②地域の健康問題やニーズ把握など、公衆衛生活動を理解する。
- ③予防医療・保健・健康増進に努める。
- ④地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。
- ⑤災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要について理解する。

9. 科学的探究

医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

- ①医療上の疑問点に対応する能力を身に付ける。
- ②科学的研究方法を理解し、活用する。
- ③臨床研究や治験の意義を理解する。

10. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

医療の質の向上のために省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

- ①急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。
- ②同僚、後輩、歯科医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。
- ③国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌等を含む。）を把握する。

C 基本的診療業務

1. 基本的診療能力

(1) 基本的診察・検査・診断・診療計画〔経験すべき症例数：各行動目標 15 例以上〕

(一般目標)

患者にとって良質かつ安全な医療を提供する目的で、基本的診察・検査・診断を実践し、且つ、総合診療計画の立案に必要な知識、技能および態度を身に付ける。

(行動目標)

①患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。

研修内容：初診外来・各診療科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて医療面接を行う。

②全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。

研修内容：初診外来・各診療科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて基本的な診察を行い、カルテに SOAP 記載を行う。

③診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。

研修内容：初診外来・各診療科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて各検査を行い、その結果の説明を行う。

④病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。

研修内容：初診外来・各診療科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて診察所見・検査結果から診断を行う。

⑤診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。

研修内容：初診外来・各診療科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて患者に配慮した治療計画の立案を行う。

⑥必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。

研修内容：初診外来・各診療科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて担当患者に対してインフォームドコンセントを実施する。

(2) 基本的臨床技能等〔経験すべき症例数：①③～⑤各 5 例以上、②に関しては合計 32 例以上、⑥2 例以上〕

(一般目標)

歯科疾患の予防技術、一般的な歯科疾患に対する応急処置、基本的な臨床技術、診療に関する記録の管理および医療事故の予防に対する知識、技能および態度を身に付ける。

(行動目標)

①歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。

研修内容：各診療科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて口腔衛生指導および予防処置を行う。

②一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。

研修内容：各診療科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて基本的な歯科治療および口腔機能の管理を行う。

a. 歯の硬組織疾患（修復処置を行う。10 例以上）

- b. 歯髄疾患（根管処置を行う。4 例以上）
- c. 歯周病（歯周基本治療（スケーリングまたは SRP）を行う。10 例以上）
- d. 口腔外科疾患（抜歯、粘膜疾患および顎関節症などに対する処置を行う。3 例以上）
- e. 歯質と歯の欠損（補綴処置を行う。3 例以上）
- f. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下（口腔機能発達不全症や口腔機能低下症の診断等に必要な口腔機能検査を行う。2 例以上）

③基本的な応急処置を実践する。

研修内容：初診外来・各診療科・協力型（I）臨床研修施設にて急患対応および応急処置を行う。

④歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。

研修内容：初診外来・各診療科・協力型（I）臨床研修施設にて血圧、脈拍、経皮的動脈血酸素飽和度を計測し、全身状態の評価を実施する。

⑤診療に関する記録や文書（診療録、処方せん、歯科技工指示書等）を作成する。

研修内容：初診外来・各診療科・協力型（I）臨床研修施設にて診療録に POMR に基づく SOAP 記載を行う。その他診療に必要な文書の作成を行う。

⑥医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。

研修内容：医療安全講習会を受講し、医療事故に対する基本的な対策を行う。

⑦インシデント、ヒヤリ・ハット事例等を経験したら、報告書等を作成するとともに、発生要因を分析することにより、必要な対策について理解し、実践する。

研修内容：医療安全講習会を受講し、報告内容及び方法について理解し、実践する。

(3) 患者管理〔経験すべき症例数：① 3 例以上、②③ 2 例以上、④⑤ 1 例以上〕

(一般目標)

最新の医学および医療に関する知識を獲得し、歯科治療に必要となる患者の情報とバイタルサイン、歯科治療時の偶発症およびその対応についての知識、技能および態度を身に付ける。

(行動目標)

①歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。

研修内容：各診療科・協力型（I）臨床研修施設にて医療面接を通して患者の全身的な疾患および服用薬剤等の情報をもとに説明する。

②患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。

研修内容：各診療科・協力型（I）臨床研修施設にて歯科診療上のリスクについて情報を集め、主治医と対診書等で情報共有を行う。

③全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。

研修内容：各診療科・協力型（I）臨床研修施設にてバイタルサイン（血圧、脈拍、経皮的動脈血酸素飽和度）のモニタリングを行う。

④歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。

研修内容：各診療科・協力型（I）臨床研修施設にて歯科診療時の併発症や偶発症やその対応法について情報を集め、実践する。

⑤入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。

研修内容：口腔外科・歯科麻酔科にて入院患者に対する術前・術後および療養上の全身及び口腔管理を行う。

(4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供〔経験すべき症例数：①② 5 例以上、③④ 1 例以上〕

(一般目標)

患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者の苦痛や不安、考え、意向に配慮した診療を実践するための知識、技能および態度を身に付ける。

(行動目標)

①妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。

研修内容：各診療科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて各ライフステージに応じて歯科疾患の予防管理および口腔機能の管理を行う。（各ライフステージについて最低 1 回は経験する。）

②各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。

研修内容：各診療科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて各ライフステージおよび全身状態に配慮した歯科診療を行う。（各ライフステージについて最低 1 回は経験する。）

③在宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。

研修内容：全身管理高齢者歯科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて訪問歯科診療に同行する。

④障害を有する患者への対応を実践する。

研修内容：障がい者歯科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて障害を有する患者への歯科診療に参加する。

2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等

(1) 歯科専門職間の連携〔経験すべき症例数：各行動目標 1 例以上〕

(一般目標)

適切な歯科診療を行うために、歯科専門職の役割を理解し、チーム医療を実践するための知識、技能および態度を身に付ける。

(行動目標)

①歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る。

研修内容：各診療科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて歯科衛生士とのチーム医療を実施する。

②歯科技工士の役割を理解し、適切な歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。

研修内容：各診療科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて歯科技工士とのチーム医療を実施する。

③多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。

研修内容：各診療科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて患者への医療提供および健康管理を行う際に、歯科専門職による多職種チーム医療を経験し各職種を理解するとともに、歯科医師の役割の説明を行う。

(2) 多職種連携、地域医療〔経験すべき症例数：各行動目標1例以上〕

(一般目標)

地域包括ケアシステムを理解し、歯科医師として多職種連携を実践するための知識、技能および態度を身に付ける。

(行動目標)

①地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。

研修内容：全身管理高齢者歯科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて地域包括ケアシステムの講習を受講し、内容をまとめ、指導歯科医とディスカッションを行う。

②地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。

研修内容：全身管理高齢者歯科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割について講習を受講し、内容をまとめ、指導歯科医とディスカッションを行う。

③在宅療養患者や介護施設等の入所者に対する介護関係職種が関わる多職種チームについて、チームの目的を理解し、参加する。

研修内容：全身管理高齢者歯科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて多職種連携の現場を経験する。

④訪問歯科診療の実施にあたり、患者に関わる医療・介護関係職種の役割を理解し、連携する。

研修内容：全身管理高齢者歯科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて訪問歯科診療を経験し、多職種チームとの連携を経験する。

(3) 地域保健〔経験すべき症例数：各行動目標1例以上〕

(一般目標)

適切な歯科診療を行うために、地域保健についての知識、技能および態度を身に付ける。

(行動目標)

①地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。

研修内容：小児歯科・全身管理高齢者歯科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて関係機関の地域保健について講習を受講し、内容をまとめ、指導歯科医とディスカッションを行う。

②保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。

研修内容：保健所等における地域保健活動について講習を受講し、内容をまとめ、指導歯科医とディスカッションを行う。

③歯科健診を経験し、地域住民に対する健康教育を経験する。

研修内容：初診外来・各診療科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて行政が実施する健診を経験する。

(4) 歯科医療提供に関連する制度の理解〔経験すべき症例数：①③1例以上、②20例以上〕

(一般目標)

適切な歯科医療を提供するために、関連する法規および制度についての知識、技能および態度を身に付ける。

(行動目標)

①医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理

解し、説明する。

研修内容：歯科医療に関する法規および制度について講習を受講し、内容をまとめ、指導歯科医とディスカッションを行う。

②医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。

研修内容：医療保険制度について講習を受けるとともに、各診療科・協力型（Ⅰ）臨床研修施設にて保険診療を実施する。

③介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。

研修内容：介護保険制度について講習を受講し、内容をまとめ、指導歯科医とディスカッションを行う。

【研修プログラムの管理運営】

本研修プログラムは神奈川歯科大学附属病院研修管理委員会が管理・運営を行う。

【研修プログラム修了の認定】

A 領域については 9 月頃、B および C 領域については 7 月と 11 月に研修の中間評価を実施し、フィードバックを行う。3 月に 1 年間の評価を行い、修了判定基準を満たした者に対して臨床研修歯科医修了証を交付する。

【修了判定を行うための評価項目】

1. 歯科医師臨床研修手帳の記載内容
2. 指導歯科医およびコメディカルスタッフによる評価
3. 実技試験
4. 症例報告
5. 出勤状況
6. その他（研修態度など）

【修了判定を行う基準】

上記評価項目の総合評価（70%を目安）

【募集定員】

30 名

【募集および採用の方法】

- 1) 募集方法：公募
- 2) 選考方法：筆記試験および面接試験

* 歯科医師臨床研修マッチングプログラムに参加する者に限る。

【研修期間】

1 年間（2027 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日）

【研修施設】

神奈川歯科大学附属病院（管理相当大学病院）4 か月（4 月～6 月、3 月）

協力型（Ⅰ）臨床研修施設 8 か月（7 月～2 月）

【処 遇】

- 1) 身 分 : 研修歯科医（常勤）
- 2) 勤務日 : 月曜日～土曜日の内 5 日間
- 3) 勤務時間 : 8 時 45 分～17 時 15 分（60 分休憩含む）
- 4) 休 日 :
 1. 日曜日およびその週の月曜日から土曜日の間の 1 日
 2. 国民の休日に関する法律に規定する日
 3. 年末年始(12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで)
※出向中は出向先の年末年始の休日に準ずる
 4. その他法人において臨時に定める日
- 5) 社会保険 日本私立学校振興共済事業団
 1. 健康保険：加入
 2. 共済年金：加入
 3. 雇用保険：加入
 4. 労働者災害補償（労災保険）：加入
- 6) 歯科医師賠償責任保険 : 病院単位で加入・個人加入を推奨
- 7) 基本研修手当
 1. 月 給 184,000 円
 2. 諸手当 (1) 通勤手当：1 ヶ月分ごとに支給(上限あり)
(2) 時間外手当：なし
 3. 研修手当締切日：毎月末日
 4. 研修手当支払日：毎月月末。ただし、諸手当については翌月支給とする。
支給日が休日にあたる場合はその前日とする。
 5. 研修手当の支払方法 : 銀行振込み
- 8) 研修歯科医控室：あり
- 9) 宿 舎 : なし
- 10) 時間外勤務 : なし
- 11) 当 直 : なし
- 12) 健康診断 : 年 1 回 4 月に実施
- 13) 年次有給休暇 : 6 ヶ月継続勤務した場合 10 日（労働基準法に準じる。）
- 14) 外部の学会、研究会等への参加は発表者については業務に支障をきたさない範囲で可。
費用は各自負担。
- 15) 神奈川県歯科医師会への入会あり（年会費は病院で負担。）

神奈川歯科大学附属病院 複合型プログラム 協力型（Ⅰ）施設

	施設番号	施設名	研修実施責任者	指導歯科医
1	050237	くまさか歯科	熊坂 覚	熊坂 覚 松井 裕之
2	050361	浅野歯科医院	浅野 和久	浅野 和久 浅野 真由美
3	050423	医療法人審美会 鶴見歯科医院	一瀬 昭太	一瀬 昭太 梅津 健太郎 入山 亮 中屋 彰浩 杉本 邦彦 藤川 勝敏 小松崎 康彦 河原 伴丞
4	050430	医療法人社団 追浜歯科医院	金本 光雄	金本 光雄 竹長 亜紀
5	050438	もろずみ歯科	両角 旦	両角 旦
6	050441	医療法人社団 松本歯科医院	松本 好史	松本 好史 松本 猛
7	050444	医療法人社団祥豊会 杉山歯科医院	杉山 義祥	杉山 義祥
8	050450	医療法人社団 金子歯科医院	金子 博嗣	金子 博嗣 岩本 勝 福川 裕見
9	050593	医療法人社団 ケイ歯科クリニック	佐藤 圭	佐藤 圭
10	050600	大槻歯科医院	大槻 榮人	大槻 榮人 藤田 宏人 大槻 麻 大槻 有美 大槻 浩一
11	050712	王子歯科クリニック	奥寺 元	奥寺 元 奥寺 俊允
12	050730	医療法人 久保田歯科医院	久保田 守	久保田 守
13	050755	医療法人宏仁会 小池歯科医院	小池 宏忠	小池 宏忠
14	050793	医療法人六広会 大石歯科医院	大石 昌弘	大石 昌弘 立井 大介
15	051018	医療法人宝歯会 かじわら歯科医院	梶原 浩喜	梶原 浩喜 春名 正敏

				中村 大輔 日高 純子 糸瀬 辰昌 西本 満利子
16	051085	医療法人社団全至善會 モリシタ 歯科医院	森下 貴祥	森下 貴祥 櫻井 允子
17	051162	阪口 歯科	阪口 尚久	阪口 尚久
18	051269	医療法人ゆめはんな会 ヨリタ 歯科クリニック	寄田 幸司	寄田 幸司
19	051411	富永 歯科クリニック	富永 尚宏	富永 尚宏
20	051515	医療法人社団青空会 渡辺 歯科医院	渡邊 和彦	渡邊 和彦
21	051585	医療法人社団緑栄会 駒津 歯科医院	駒津 栄雄	駒津 栄雄 伊東 由里恵
22	051624	医療法人財団麗歯会 加藤 歯科医院	串田 守	加藤 増信 高梨 雅浩 串田 守 大久保 則子
23	051631	医療法人社団飛翔会 たけなが 歯科クリニック	竹長 博史	竹長 博史
24	051636	医療法人社団青松会溝のロステーションビル 歯科	山本 成允	山本 成允 清水 寧 李 知牛
25	051639	医療法人社団明輪会 プラザデンタルクリニック	半澤 栄一	半澤 栄一
26	051652	医療法人社団誠幸会 阿南 歯科医院	阿南 治	阿南 治
27	051677	医療法人社団開成会 うえだ 歯科	上田 順一	上田 順一 旗手 翔平
28	060040	医療法人社団添田グループ ハート 歯科	添田 博充	添田 博充 橋本 知永子
29	060045	平野 歯科医院	平野 昌保	平野 昌保
30	060049	医療法人 聖徳会 田中 歯科クリニック	田中 俊樹	田中 俊樹
31	060060	医療法人社団善仁会 小山記念病院	水沼 秀之	水沼 秀之 青島 公彦 山田 啓子 小堀 実
32	060069	医療法人社団 つじむら 歯科医院	辻村 傑	辻村 傑
33	060096	医療法人社団慧仁会 ふるた 歯科	古田 潤二郎	古田 潤二郎
34	060106	医療法人社団親民会 波多野 歯科クリニック	波多野 一	波多野 一
35	060145	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	李 宇錫	李 宇錫 大見 寧
36	060148	グリーン 歯科医院	大橋 真龍	大橋 真龍

37	060173	医療法人清歯会 浅井歯科医院	浅井 計征	浅井 計征
38	060189	医療法人社団健医会 西砂歯科医院	谷津 世昭	浅谷 佳秀 東 桂太郎 谷津 世昭 原 啓悟 若槻 隼人
39	060191	医療法人社団オリエント 後藤歯科医院	吉田 武史	吉田 武史 後藤 脩 鈴木 崇之
40	070065	医療法人社団博誠会 久世歯科医院	久世 哲也	久世 哲也 久世 恵
41	070136	医療法人清歯会 洛西口浅井歯科医院	浅井 拓	浅井 拓
42	070179	医療法人宝歯会 平沢歯科	宝崎 岳彦	宝崎 岳彦 平山 淳
43	070180	医療法人社団 Pika's ひらいで歯科医院	平出 光一	平出 光一
44	070182	篠塚歯科医院	篠塚 嘉昭	篠塚 嘉昭 江 思慧
45	070183	医療法人社団弘久会 汐見台歯科	重松 忠祐	重松 忠祐
46	070246	医療法人社団尚歯会 フェリア歯科医院	藤森 一樹	藤森 一樹 川瀬 雅美
47	070247	医療法人社団尚歯会 メルクス歯科医院	津谷 允宏	津谷 允宏 吉田 勝彦 宇佐美 尚子
48	080065	医療法人社団健恒会 薬円台歯科	北和田 健吾	北和田 健吾
49	080070	医療法人社団光星会 のむら歯科医院	野村 勝則	野村 勝則
50	080073	医療法人恵宏会 千恵歯科医院	黒木 輝樹	黒木 宏一 黒木 輝樹
51	080075	医療法人社団恵希会 やまざき歯科医院	山崎 良和	山崎 良和 岩谷 いずみ
52	080112	医療法人社団ワンアンドオンリー 麻生歯科クリニック	麻生 幸男	麻生 幸男
53	090030	医療法人社団相光会 湘南グリーンクリニック	西城 一代	西城 一代
54	090031	本町デンタルクリニック	古谷 淳	古谷 淳
55	100031	医療法人社団オレンジグループ 港南台オレンジ歯科	渡辺 朝康	渡辺 朝康
56	100066	医療法人社団ブライトデンタルケア 川口リボンシティ 歯科・矯正歯科	松岡 大輝	松岡 大輝
57	100077	医療法人親和会 ららぽーと横浜さくらんぼ歯科	斉藤 恒	斉藤 恒
58	100151	医療法人社団山水会 杉山歯科医院	霞 宏之	霞 宏之 小出 大助

59	110031	医療法人社団健恒会 船橋日大前さくらパーク歯科	細野 隆也	細野 隆也 西島 泰人
60	110061	医療法人社団尚歯会 コートマリーナ歯科医院	花澤 清文	花澤 清文
61	110072	たじま歯科クリニック	田島 大太郎	田島 大太郎
62	120019	医療法人社団ブライトデンタルケア 王子リボン歯科・矯正歯科	大森 正義	木村 美穂
63	120020	あすなろ小児歯科医院	佐野 正之	佐野 正之 佐野 哲文 山田 一尋 岩崎 浩
64	120021	医療法人社団ブライトデンタルケア 羽生リボン歯科・矯正歯科	井関 健太郎	井関 健太郎
65	120039	医療法人社団鏡会 鏡歯科医院	渡邊 幸俊	渡邊 幸俊
66	120042	医療法人 Smile & Wellness あるが歯科クリニック	有賀 正治	有賀 正治 鍵谷 真吾
67	120059	医療法人社団仁慈会 南大沢歯科医院	磯部 司	磯部 司
68	120062	医療法人翠章会 すまいる歯科	山村 洋志明	山村 洋志明
69	120064	みなみだ歯科クリニック	南田 厳司	南田 厳司
70	120077	医療法人社団ティースプランニング 自由が丘デンタルスタジオ	吉田 雅幸	吉田 雅幸 高橋 佑
71	120108	吉田歯科クリニック	吉田 健	吉田 健
72	130005	アップル歯科クリニック	池田 大造	池田 大造
73	130013	あめみや歯科医院	雨宮 博志	雨宮 博志
74	130027	医療法人社団隆嘉会 よしひろ歯科クリニック	山田 嘉宏	山田 嘉宏
75	130045	医療法人社団敬友会 小机歯科医院	久保倉 弘孝	久保倉 弘孝 増永 浩一 藤村 亮介
76	140062	医療法人 happy smile ほたるだ歯科医院	山下 伸司	山下 伸司 守田 健太郎
77	140063	医療法人社団 徳倫会 西村歯科クリニック	西村 倫雄	西村 倫雄
78	140066	医療法人社団史祥会 房総メディカルクリニック	岩塚 祥穂	岩塚 祥穂 小出 茉美 五味 由季
79	140080	医療法人太洋会 すぎうら歯科クリニック	杉浦 洋平	杉浦 洋平 大野 浩之
80	150004	医療法人光恵会 ひかり歯科クリニック	島田 光	島田 光 北川 泰司
81	150005	医療法人光恵会 彩都歯科クリニック	伊原 勝換	伊原 勝換

82	150006	医療法人光恵会 ひかり歯科クリニック摂津院	宮地 久崇	宮地 久崇
83	150036	医療法人社団 アクト 武蔵小山歯医者	馬場 浩之	馬場 浩之
84	150044	ALBA 歯科&矯正歯科	熊木 淳雄	熊木 淳雄
85	150045	医療法人笑顔を育む会 ミツ境駅前スマイル歯科	樋田 秀一	樋田 秀一
86	150047	医療法人幸明会 ヤガサキ歯科医院	矢ヶ崎 隆信	矢ヶ崎 隆信 安藤 ゆずる
87	150048	医療法人社団ハーティース みよし通り歯科	嶋崎 直人	嶋崎 直人 羽田 雪子
88	150050	吉村歯科医院	吉村 英則	吉村 英則
89	150052	医療法人社団 永田歯科医院	永田 知子	永田 知子
90	150054	医療法人目黒歯科 目黒歯科医院	目黒 大輝	目黒 大輝
91	150055	松川歯科医院	松川 隆也	松川 隆也
92	150056	医療法人社団聖歯会 かねだ歯科診療室	金田 徳煥	金田 徳煥
93	150057	医療法人崇厚会 斉藤歯科医院	西濱 豪郎	西濱 豪郎
94	150058	関歯科診療所	関 豊成	関 豊成
95	150059	パール歯科クリニック	大原 健一	大原 健一
96	150061	甲府ファーストデンタルクリニック	熊井 純平	熊井 純平
97	150062	医療法人社団いのうえ歯科医院	井上 正人	井上 正人
98	150083	医療法人青歯会 あみの歯科医院	網野 省三	網野 省三
99	160010	医療法人スワン会 きたならエキ歯科	和田 将朋	和田 将朋
100	160050	あきる歯科	濱窪 洋平	濱窪 洋平
101	160055	カトレヤプラザ歯科	井上 一夫	井上 一夫
102	160056	鈴木歯科医院	鈴木 薫	鈴木 久実
103	160057	医療法人社団きぬた会 きぬた歯科	羅田 久和	羅田 久和 西塚 源 佐野 裕介 金野 哲也 徳留 健二郎
104	160058	医療法人社団池田会 池田歯科クリニック	池田 寛	池田 寛 入江 佳奈
105	160060	医療法人 Win-Win だいが歯科クリニック	村山 大悟	村山 大悟
106	160061	医療法人社団アットグループ あつ歯科医院	渡邊 篤	渡邊 篤
107	160063	医療法人柏康会 デンタルクリニック T.T.C.	大西 裕之	織田 正明 谷山 智秀 大西 裕之
108	160064	医療法人社団 順真会 ファースト歯科クリニック	松本 高順	松本 高順
109	160065	医療法人社団吉玉会 東林間駅前歯科	吉玉 達司	吉玉 達司
110	160067	医療法人社団慈篤会 平野歯科医院	平野 治朗	平野 治朗

111	160069	アス横浜歯科クリニック	丹谷 聖一	丹谷 聖一 緑野 智康
112	160070	医療法人よつ葉会 ゆめの森歯科いせはら	宮前 貴記	宮前 貴記 富田 智之 鳥塚 直樹
113	160071	医療法人社団角理会 鵜沼アルカディア歯科	角田 栄一	角田 栄一
114	160074	医療法人社団大志 北上尾歯科	大石 洋平	大石 洋平 設楽 奈那美
115	160076	医療法人 ODC オーキッド歯科クリニック	廣川 崇史	廣川 崇史
116	160077	医療法人玄德会 わかば台デンタルクリニック	小川 真	小川 真 細川 周平
117	170019	たんぽぽ歯科医院	大谷 武	柳田 充康 大谷 武 萩谷 洋平 志賀 英俊 澤田 克也 志賀 公輔
118	170037	医療法人社団清勝会 シーサイド歯科	伊藤 勝人	伊藤 勝人
119	170038	医療法人応世会 大野歯科医院	清水 武嗣	清水 武嗣 吉村 一宏 後藤 正志
120	220005	医療法人社団泰進会 湘南平塚ファースト歯科	岡本 駿吾	岡本 駿吾 小西 壯明
121	220030	医療法人ブライティース ハートデンタルクリニック 桜新町駅前	高橋 章太郎	高橋 章太郎
122	220050	医療法人横須賀歯科クリニック 久里浜グリーン歯科	伏見 肇	伏見 肇 藤原 基
123	330092	みなとみらい学園歯科クリニック	服部 慎太郎	服部 慎太郎